# ＦＪシリーズ屋外仕様・屋外熱対策仕様・屋外窓付仕様

# ＯＦＪ・ＯＦＪ－Ｄ・ＯＦＪＭ　取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

## 安全のための注意事項

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きを熟読し、正しくご使用ください。
機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。
この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

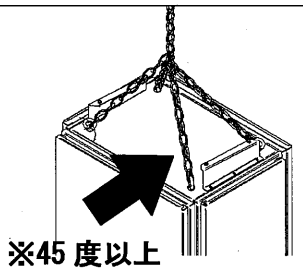
| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | ：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。 |
| ⚠ 注意 | ：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。 |

なお、⚠ 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

### ⚠ 危険

**■ 吊り上げ時のご注意**

・ 本品を吊り上げる場合には、必ず 4 ヶ所で吊り上げ、45 度以上の角度で均一な荷重にしてください。
・ 2 ヶ所での吊り上げや 45 度未満の吊り上げ角度、使用荷重オーバーは落下の恐れがあります。



※45 度以上

**アイボルト使用荷重〔45 度吊り(2 個につき)〕4.41 kN ( 450 kgf)**

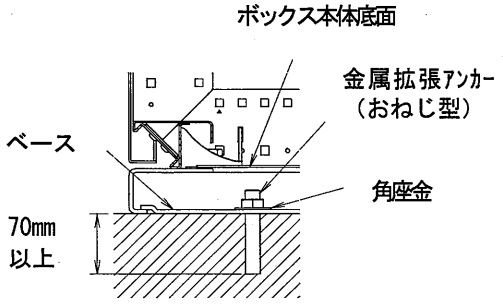
## ■ 施工上の注意

### ⚠ 注意

**■ 設置上のご注意**

・ 耐震対策の為、角座金などにより補強し、M16 のアンカーボルトにて固定してください。
地震などで転倒・破損の原因になります。
・ 重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。
・ 感電防止の為、必ず接地(アース)してください。
・ ベース底面のアンカーボルト取付用穴 4-φ20 を使用し、M16 アンカーボルトにて床面に固定してください。
・ アングル等を使って設置面を上げる際は、下側からキャビネット内部に水が浸入する恐れがあります。

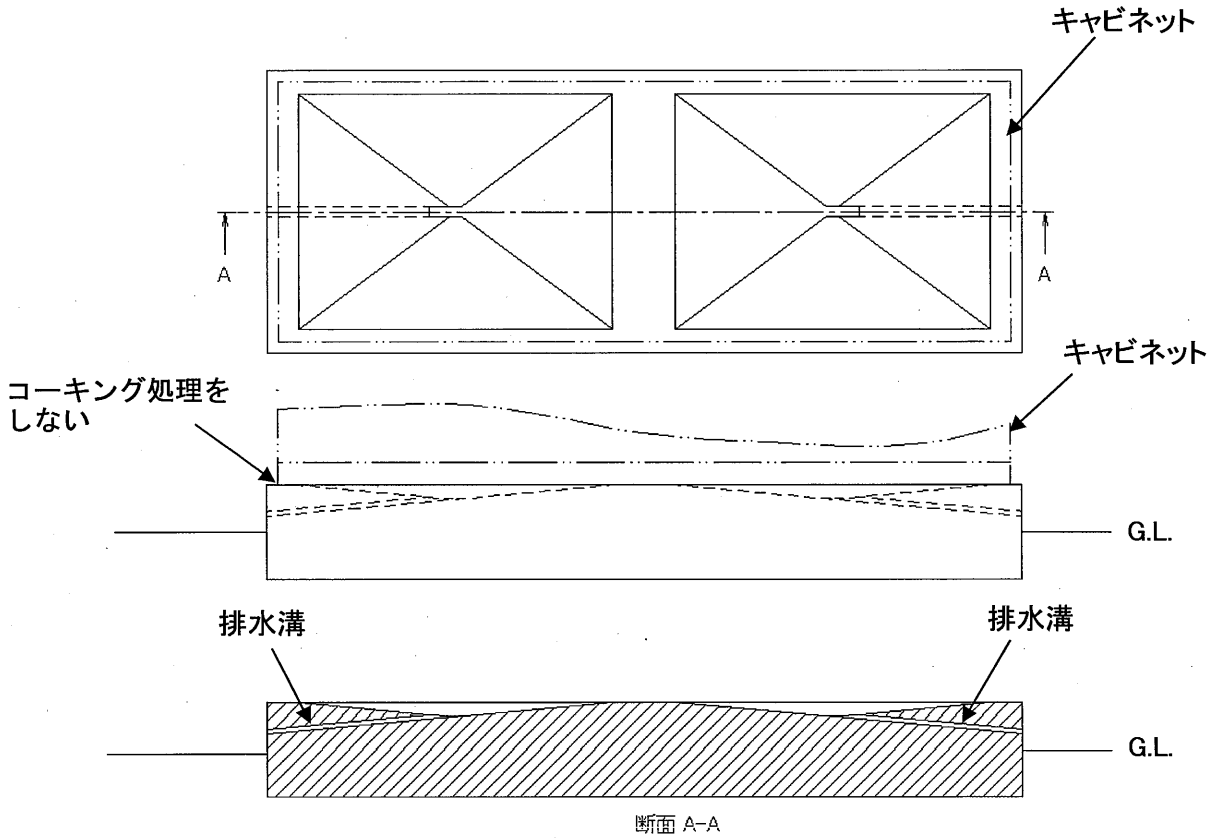
| | 最小埋め込み深さ |
|---|---|
| ボルト径 M16 | 70mm |




あと施工アンカー施工例

## ■ 設置上のご注意

・ 扉のひずみ防止のため、設置場所の床面のレベル出しを行ってください。
・ 内部に雨水が溜まるのを防ぐため、下図のような排水溝を設けてください。
・ 排水溝の流出口には金網を張るなどして小動物の侵入を防止してください。
・ 引込、引出配線は、原則としてパイプにて施工してください。
・ 雨水の流入を防ぐためパイプは基礎面より 50㎜ 程度の高さにしてください。
・ パイプ工事完了後は、パイプの周囲より漏水のないように配慮してください。
・ コンクリート基礎と基台の間にコーキング処理はしないでください。
　キャビネット内部に雨水などが溜まり、結露や錆の原因になります。




※排水溝施工の一例です。

## ■ 使用上の注意

### ⚠ 注意

■ 天井面への局部的な荷重を避けてください。変形の原因になります。

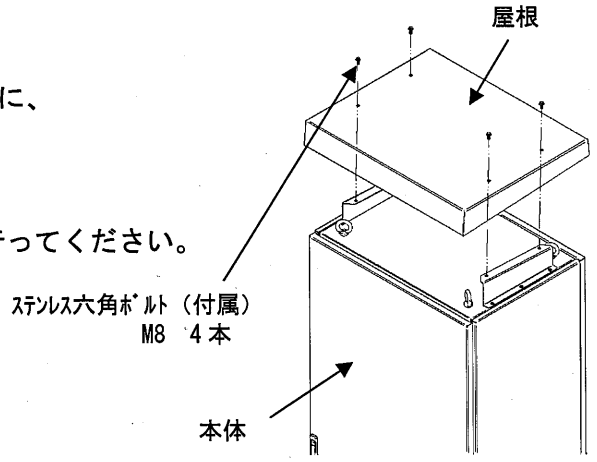
■ ボックス本体に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコミや歪みが発生し、強度の劣化につながります。

■ **穴加工後のお取扱いについて**　※内部が負圧にならない状態で粉塵の進入を防止

- ＦＪシリーズ屋外用は IEC 規格 60529 に基づく保護等級 IP55（カテゴリー2※）です。（両扉は IP44）穴加工をした時点でその性能は保証できなくなります。
- 穴加工した場合に取付けされるパーツは保護等級（IP 性能）に合致したものを使用し、保護等級に応じた処置を行ってください。

■ **屋根の取付け方法について**

- 本品は屋根が別梱包です。キャビネット設置後に、付属の取付けねじを使用し取付けてください。
  （適正締付けトルク 7.8～13.7 N･m）
- 屋根は重量物です。取付け作業は 2 人以上で行ってください。




■ **扉の外し方について**

- 扉を外す時には以下の手順で作業を行ってください。

（１）扉の開角度を約 60 度に保ち、ドアストッパーをフレーム側から外す。（図 1）

（２）扉の開角度を約 90 度に保ち、蝶番のネジ部を矢印の方向にドライバーで回し、蝶番ピンのはめ合いを外す。（図 2）

（３）扉の開角度を約 90 度に保持したまま、扉を蝶番から矢印の方向に外す。（図 3）

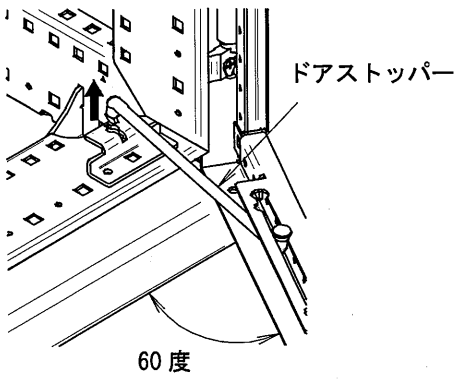



図１　ドアストッパーの外し方

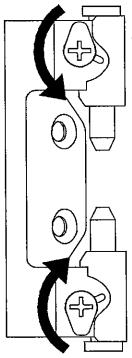


図２　蝶番ピンの外し方

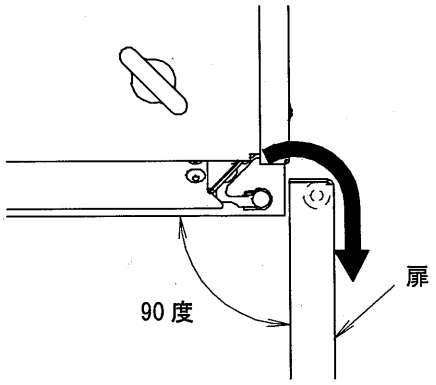
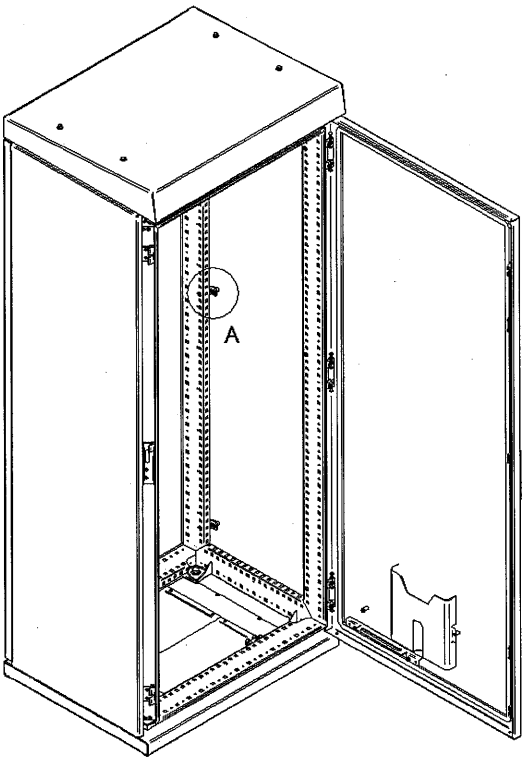


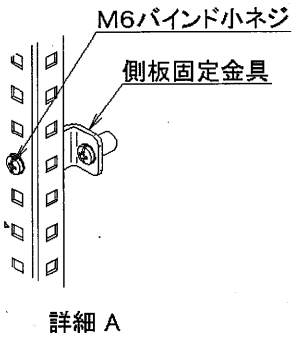

図３　扉の外し方

- 扉を取り付ける時には前記の逆の手順で行ってください。
  取付け時、蝶番は扉の中央部より取付けてください。蝶番ネジ部を矢印と逆の方向に回し、確実に固定してください。

## ■ 側板の外し方について

・ 側板はM6バインド小ネジを取外し、側板を取外してください。



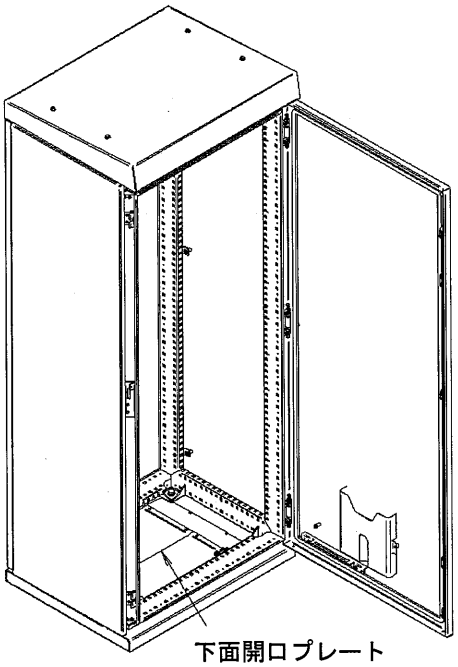




詳細 A

| ⚠ 注意 |
| --- |
| **扉・側板は重量物です。ケガ防止のため、一人で着脱作業は行わないでください。** |

## ■ キャビネットの下面開口プレートについて

・ 下面開口プレートは、下部入出線口のカバーのため強度がありません。
荷重は、基台またはフレームで直接受けるようにしてください。



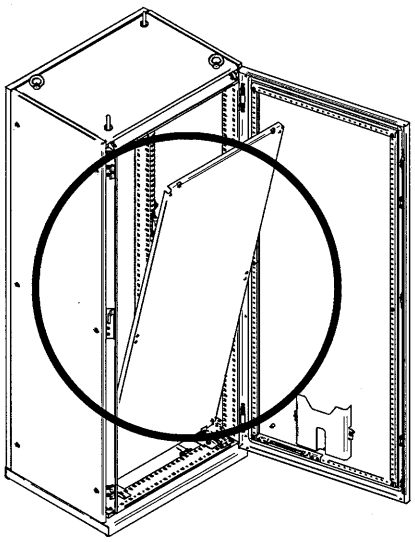

## ■ キャビネットの連結について

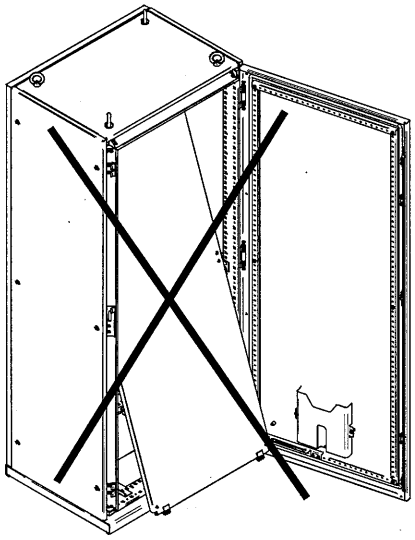
・ 遮光板付の製品(OFJ-D)については、連結して使用することはできません。

## ■ 鉄製基板の取り外し時のご注意

**危険**

・ 鉄製基板を外される時は下図のように上部を手前に引いて引き出してください。
鉄製基板の下部が手前になりますと鉄製基板が飛び出してくることがあり、非常に危険です。





**注意**

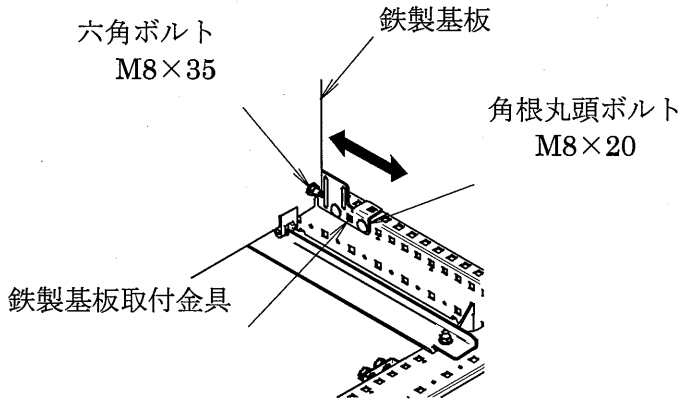
・鉄製基板は重量物です。けが防止の為、一人で作業を行わないでください。

鉄製基板は六角ナットを外すとフレームから取り外すことができます。

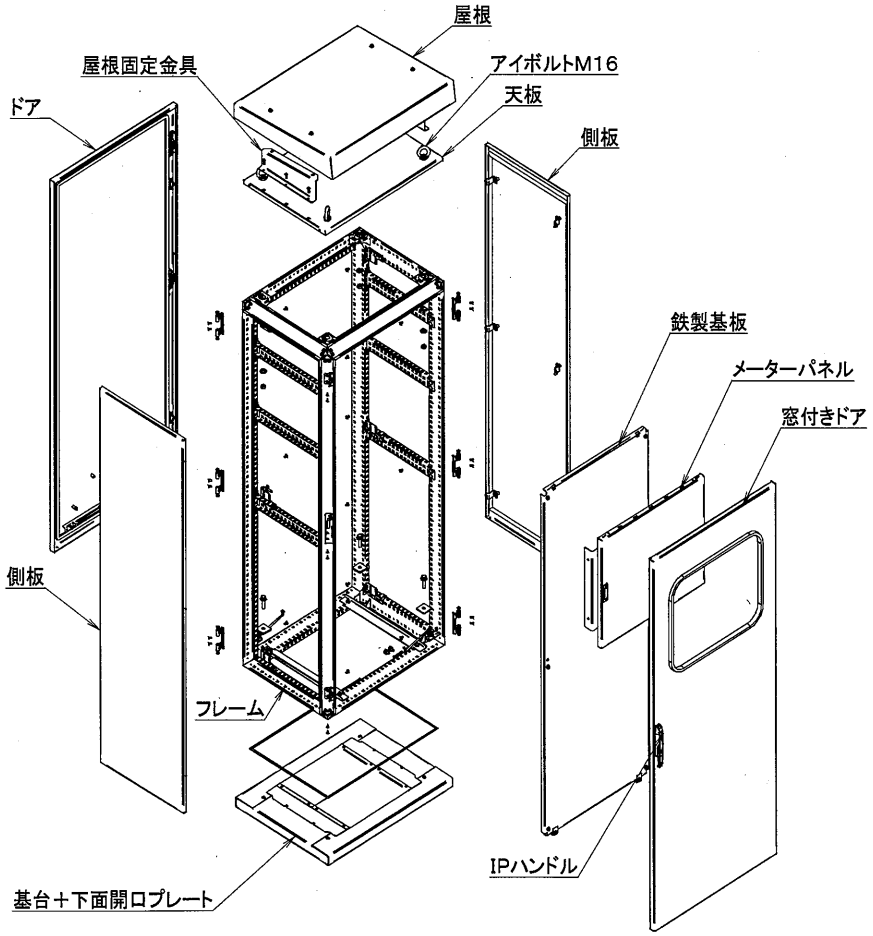
## ■ 鉄製基板の前後移動について

・鉄製基板を取り付けている鉄製基板取付け金具(上、中、下各 2 個)のネジ(角根丸頭ボルト M8-20 12 個)を取り外しますと、鉄製基板の前後移動が 25mmピッチで可能です。

・基板の動きが悪い場合は鉄製基板を固定しているネジ(六角ボルト M8-35 6 個)を緩めて移動を行ってください。



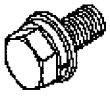
## ■ 本体構造・各部名称




| 部品名 | 材質 | 片扉<br>板厚 |
|---|---|---|
| フレーム | 鋼板 | t2.0 |
| 天板 | | t2.3 |
| 側板 | | t2.3 |
| ドア | | t2.3 |
| 屋根 | | t2.3 |
| 窓 | 網入りガラス | t6.8 |
| 基台 | SUS304 | t3.0※ |

※ヨコ寸法 1000mmはt4.0

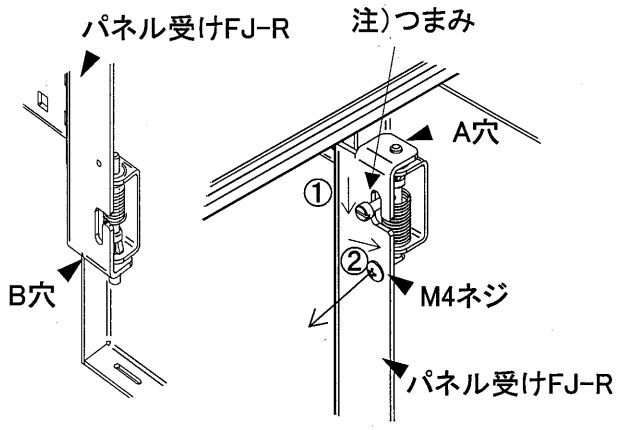
## ■ 付属品

| 部品名 | 姿図 | 用途 | 数量 |
|---|---|---|---|
| 3 点セムス六角ボルト<br>M8×20(SUS304) |  | 屋根の取り付け | 4 |

## ■ メーターパネルの取り外し方について

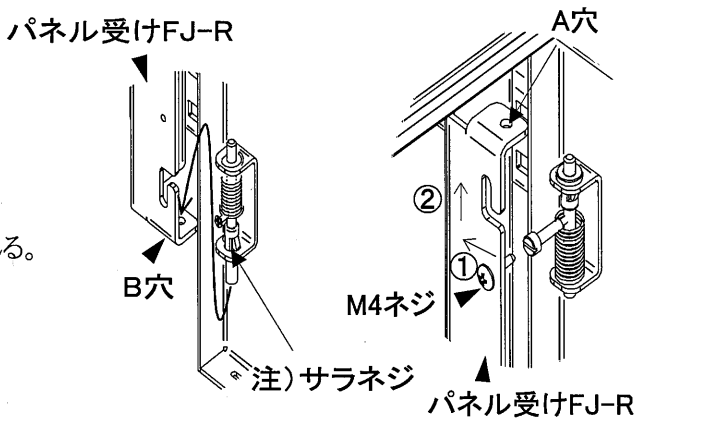
1) M4 ネジを取り外す。
（M4 ネジを取らないとつまみは下がりません。）
2) メーターパネルを下から支えながら持ち、
上側からのピンのつまみを①方向に下げ、
②方向にずらしパネル受け FJ-R の A 穴から
ピン先を外す。
3) メーターパネルを上に持ち上げ下側のピンを
パネル受け FJ-L の B 穴から外す。

**※本体を横に寝かせて取外す場合も、メーターパネルを支えながら同様の方法で行ってください。**



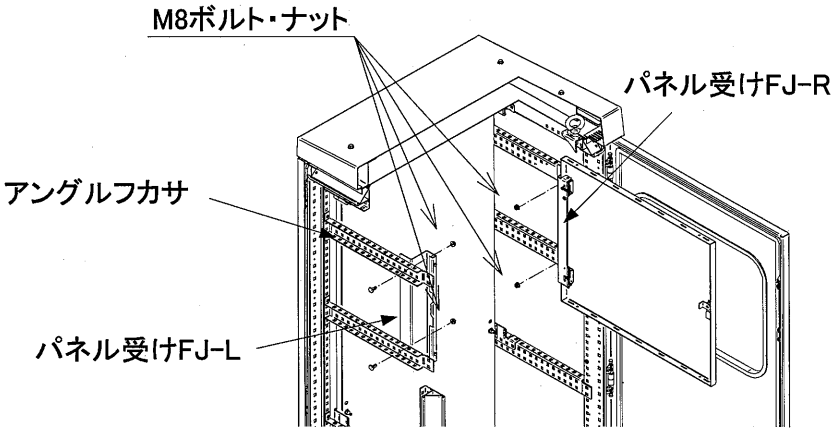

## ■ メーターパネルの取り付け方について

1) 下側のピンをパネル受け FJ-R の B 穴に差し込んだ後、
上側のピンのつまみを①方向にずらし②方向に
上げると同時にピン先をパネル受け FJ-R の A 穴に入れる。
2) M4 ネジを取り付ける。




## ■ メーターパネルの深さ調整について（25mmピッチで調整が可能です。）

1) パネル受け FJ-R、FJ-L の上下のボルトナット（M8 角根ボルト・M8 ナット）を
4 ケ所取り外し、調整したい深さに合わせる。
2) アングルフカサの角穴にあわせボルトナットを締めなおす。




注）上図のつまみとサラネジを塗り替え等によりはずした場合は、
組み立てる際に緩み防止剤を塗布してください。

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社技術相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は 2006 年 2 月現在のものです。


NITTO 日東工業株式会社


© NITTO KOGYO CORPORATION


技術相談室／愛知県愛知郡長久手町蟹原 2201 番地
TEL (0561) 64-0152
http://www.nito.co.jp


SK-060A B881211924
〈再生紙を使用しています〉